

令和6年度（海老名高校）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上	教育公務員としての倫理意識の向上を目指し、事故を未然に防止する。	○令和7年2月に行政課作成の資料を活用して、職員会議において法令順守意識を高める研修をおこなうとともに情報の共有に努めた。【担当：副校長】
職場のハラスメント（パワハラ・セクハラ、マタハラ等）の防止【必須項目】	パワハラ、セクハラをはじめとする職場のハラスメントの問題について理解を深め、未然に防止する。	○令和7年1月に行政課作成の資料を活用して、職員会議においてハラスメントの自己点検を行い、人権意識の向上に努めた。【担当：初任者】
生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止【必須項目】	わいせつ・セクハラ行為を未然に防止する。	○セクハラアンケートを実施し実態を把握した。 ○令和6年5月に資料を活用した研修を行った。 日頃から意識を高めるとともに自己の行為を見直す機会となった。【担当：生活支援G】
体罰、不適切な指導の防止【必須項目】	生徒の人権を尊重した指導により未然に防止する。	○体罰アンケートを実施し、実態を把握した。 ○令和6年7月に資料を活用した研修を実施し、指導方法の点検を実施した。【担当：生徒会G】
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取り扱いに係る事故防止【必須項目】	入学者選抜に係る事故ゼロを目指す。 成績処理業務に係る事故を未然に防止する。 調査書作成等進路業務に係る事故を未然に防止する。 書類の発行手続き及び出願までの作業についてすべての職員で事故防止に当たる。	○令和6年6月資料を活用して研修を行い、定期試験・成績処理に関する意識を点検するとともに未返却テストの保管方法について見直しを行った。【担当：学習支援G】 ○令和6年7月、調査書一斉点検を実施し、記載内容を確認した。【担当：進路支援G】 ○令和7年1月に資料を活用して研修を実施し、業務に対する点検と意識の向上を図った。【担当：学習支援G】 ○入選マニュアルを確実に読み合わせ、入選業務を理解する機会を設けた。【担当：入選委員会】 ○学期末の成績処理に関するマニュアルを作成し、成績処理に係るミスをなくした。（7月、9月、3月）【担当：学習支援G】
個人情報等の管理・情報セキュリティ対策	情報の管理方法を確認し、個人情報の流失を未然に防止する。	○令和6年9月資料を活用して個人情報の取扱いについて研修を行い個人情報の意識の向上を図った。【担当：広報G】
交通事故防止・酒酔い、酒気帯び運転の防止、交通法規の遵守	交通事故の発生、酒酔い・酒気帯び運転を未然に防止する。	○令和6年11月資料を活用して研修を行い、飲酒運転及び飲酒に係る不祥事防止について再認識した。【担当：生活支援G】

人権や生徒への影響を配慮した生徒指導	生徒指導、教育相談などで人権に配慮した対応をする。	○令和6年8月にSSWより人権に係る研修会を実施し、人権意識を向上させた。生徒の人権に関する資料を活用し、職員自身の行動を点検し、改めて人権尊重の意識を向上させた。【担当：生活支援G】
会計事務等の適正執行の確保	会計の処理において適正な執行を行わない職員をゼロとする。	○令和6年4月に会計担当者を対象とした説明会を実施し、適正な会計方法について周知徹底した。 【担当：学校管理G・副校長】 ○令和6年10月に研修資料を活用し私費会計に関する知識を点検し会計に関する意識を高めた。 【担当：学校管理G】

○ 令和6年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和7年度に取り組むべき課題
(学校長意見)

全職員が不祥事防止について自分事として捉えることができるよう各業務担当者が講師役となる主体的な研修を継続的に実施している。講師役の職員がそれぞれの担当分野について不祥事を引き起こすリスクや留意すべきことを明確にするなど研修効果が高く職員の意識向上に繋がっている。今後も機会を捉えて意識啓発することが必要であり、職員間のコミュニケーションを活性化させ同僚性を高め、互いの声掛けによって不祥事を未然に防ぐことができるという意識を持ち続けることが課題といえる。また、同僚性を高めることで日々の業務を再度見直し、業務の効率化やスリム化となるよう課題意識をもてるよう、日々、丁寧な情報発信をしていく必要がある。日頃の業務を振り返り、それぞれが不祥事の未然防止とする意識をもちつつ、経験の浅い職員に対して人材育成の観点から令和7年度は「海老名高校人材育成イヤー」というスローガンをもとに全員が活躍する職場づくりを目指していく。